

## 『喜よ豆』による復刻版羊羹づくり

～江差町における異業種地域連携活動～ (広域班 高付加価値化)

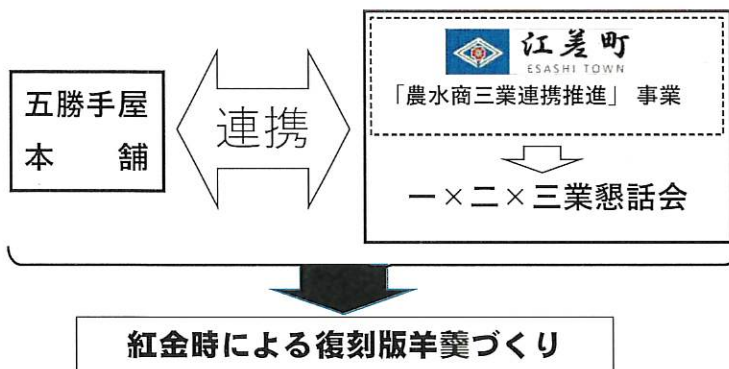
## 1 背景・活動のねらい

- ・江差町には、丸缶羊羹で有名な老舗和菓子屋「五勝手屋本舗」があり、令和2年度に創業150周年を迎え、その記念のため紅金時を原料にした羊羹づくりを検討していた。
- ・また、町では平成28年度から令和2年度まで「江差町まち・ひと・しごと創生総合スタートアップ事業」を展開しており、これに基づき「一×二×三業懇話会」が設立された。当会は、町内各産業の有志が協力連携し、新しい特産品開発等を模索していた。
- ・平成30年、普及センターに五勝手屋本舗より、紅金時栽培について相談があった。このことを受け、江差町に提案し、「一×二×三業懇話会」で取り組む流れとなった。
- ・普及センターとしては、「紅金時『喜よ豆』による復刻版羊羹づくり」を通して、異業種による地域連携により構築された関係の定着を図るべく助言、支援を実践した。

## 2 活動の主な成果

## 【平成30年度】

- 紅金時を原料にした羊羹づくりを役場に提案、「一×二×三業懇話会」主体に活動開始



会議風景

## 【令和元年度】原料生産に向けて種子づくり

- 道総研中央農業試験場遺伝資源部の「紅金時」で種子づくり
- 地元で栽培されていた「紅金時」を発見。種子として提供を受ける

種子確保



懇話会のメンバーと展示ほ設置



江差町で紅金時を栽培している農業者

**【令和2年度】復刻版羊羹づくりのため原料生産**

- 復刻版羊羹づくりのための原料生産
- PRのため、町内各所に紅金時植栽プランターを設置
- 地元で栽培されていた紅金時に命名→「喜よ豆」誕生



復刻版羊羹完成



懇話会のメンバーでは種



紅金時植栽プランターの展示



完成した「復刻版羊羹」

**【令和3年度】「喜よ豆」を「町の豆」にするための種子づくり**

- 町民を募って、は種・収穫



は種前ミーティング



手取り収穫



種子60kg確保

**【令和4年度】「喜よ豆」栽培グループ結成、羊羹の原料づくり**

- 「喜よ豆」栽培グループ結成（4名、80a）、羊羹の原料生産



栽培メンバー



コンバインで収穫



出荷前の粗選別

粗原子実重66kg/10a → 5分の4を復刻版羊羹の原料に

## 【令和5年度】「喜よ豆」栽培グループ2年目、安定生産に向けた栽培技術の検討

●増収に向けて栽培技術の向上を図る（2.1ha）



は種作業、試験計画に関する打合せ



左：「大正金時」を使った羊糞  
右：R4年産「喜よ豆」を使った羊糞  
（復刻版『かつて』）



は種作業（テレビ局も取材）



追肥効果確認実証ほの設置



高温障害による着莢不良



着莢不良及び登熟ムラのため、熟莢を手もぎで収穫  
（グループメンバー、五屋勝手本舗、役場、普及センター）

全量次年度の栽培用種子へ



「今年の事は、美談に変える！来年はV字回復！」

### 3 今後に向けて

取組みを続けるためには、収量確保は必須である。施肥量や土壌改良、は種時期等の栽培管理を再検討する。

また、新たな「喜よ豆」の利活用、異業種との連携活動を勧める。

